様式１

令和８年８月２７日

見附市議会議長　　様

見附市議会議員　　　五十嵐　遼

一　般　質　問　通　告　書

下記のとおり質問したいので、会議規則第６１条第２項の規定により通告します。

質問事項　（主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷）
【１】学校適正配置計画を契機とした持続可能な教育環境の構築について
答弁を求める者　　　市長、教育長
少子化に伴う児童生徒数の減少を背景に、令和８年３月に見附市では学校適正配置計画を策定しました。今後は、その計画に基づいて小中学校の統廃合が進められます。また、休日における部活動の地域展開が始まり、今後は平日の地域展開も推進され、教育環境が大きな転換期を迎えています。 学校が変わっても、子どもたちの安全な通学、学びの選択肢、地域とのつながり、スポーツ・文化活動への参加機会を保障することはとても重要であると考え、以下お伺いします。 １　学校統廃合後の通学について （１）学校適正配置計画において、通学距離や通学時間が長くなる場合の通学手段の検討を令和８年度に行うとなっています。 現在の検討状況と具体的な通学手段や支援方針を市民・保護者へ示す時期について伺います。

※　番号のつけ方　（大項目）１２３　（中項目）（１）（２）（３）　（小項目）アイウ

受付
第　８　号
-8.8.27
見附市議会事務局

様式１

氏名　五十嵐　遼

（２）通学距離による単一的な通学支援ではなく、通学時間、冬期間の通学路の安全性、児童の学年や身体的事情などを考慮した見附市独自の通学支援基準を設ける考えがあるのかお聞かせください。

２　学区外就学について

（１）令和９年度から相互オープンスクールが試行される中、相互オープンスクールの制度趣旨（段階的統合の一環か、学校選択の拡充か）と今後の学区外就学・学校選択のあり方をどのように考えるかお聞かせください。

（２）学校統廃合や制度の見直しによって就学の選択肢が広がる場合、学区外就学における通学手段と保護者負担を今後どのように整理していく考えか伺います。

３　学校統廃合後の共創郷育について

（１）学校統合に伴う学校運営協議会や地域学校協働活動の再編について、旧学区・地域コミュニティとの関係をどのように引き継いでいくのか伺います。

※　番号のつけ方　（大項目）１２３　（中項目）（１）（２）（３）　（小項目）アイウ

様式１

氏名　五十嵐　遼

（２）教育コーディネーターなどの地域の担い手を今後どのように確保・育成し持続可能な体制を構築し、地域学校協働活動を行っていくのかお聞かせください。

4　部活動の地域展開について

（１）部活動と地域クラブ活動が併存する現在の状態を、市は過渡的なものと認識しているのか。市は平日の学校部活動を今後どのように位置づけ、地域展開の最終的な姿をどのように描いているのか。

（２）家庭の経済状況や送迎の可否によって、スポーツ・文化活動への参加機会に格差が生じないよう、費用負担や移動手段を含め、どのような支援を検討しているか。

※　番号のつけ方　（大項目）１２３　（中項目）（１）（２）（３）　（小項目）アイウ